

## ◆ 今週のコメント

- レジオネラ症(肺炎型)の報告が2例(50歳代, 60歳代, 共に男性)あります。本年の累積報告数は25例で, 過去10年間で最も多い報告数となっています。
- 梅毒の報告が1例(30歳代男性)あり, 症状は鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)及び梅毒性バラ疹です。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は31例となっています。
- RSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.24(51例)で, 3週連続で増加しています。発症の中心は0歳児と1歳児です。感染予防のため, マスクの着用や流水・石鹸による手洗いを励行しましょう。

## ◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

- 京都市で平成27年7月から9月までの間, AIDS患者 3例, HIV感染者 3例の計6例の報告がありました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 2例【1月以降の累積報告数 25例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 32例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 37例】
- 五類:梅毒(早期顕症梅毒) 1例【1月以降の累積報告数 31例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

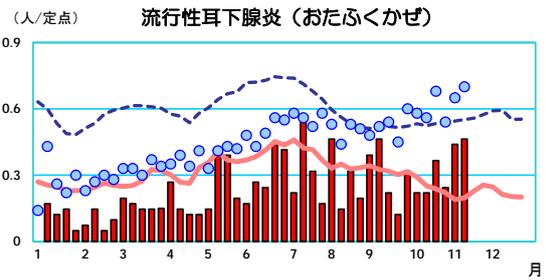
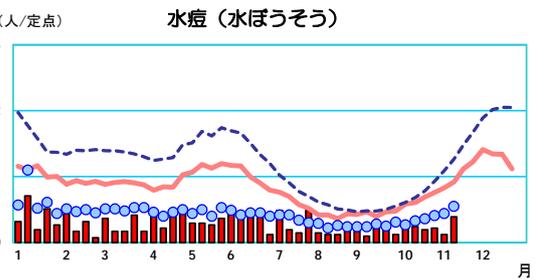
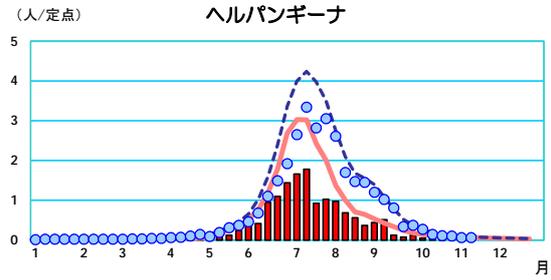
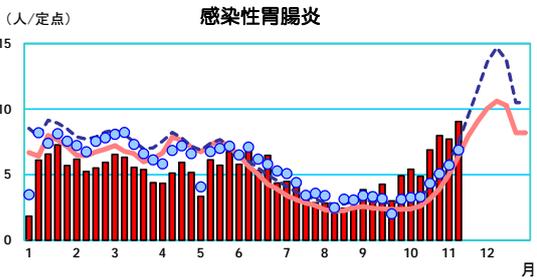
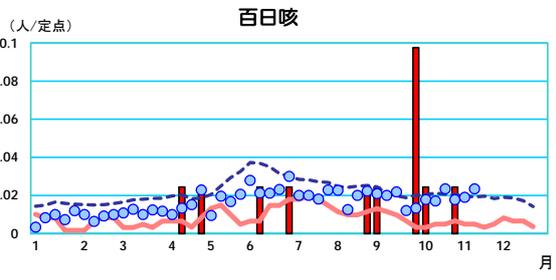
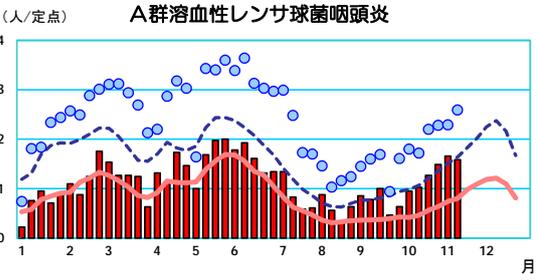
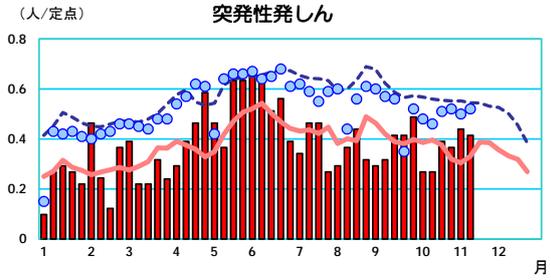
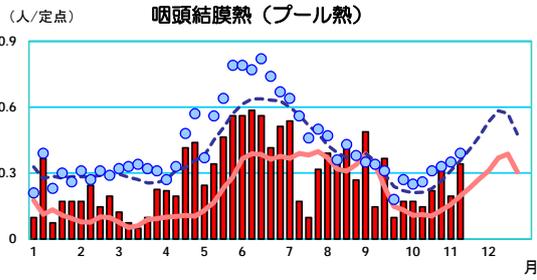
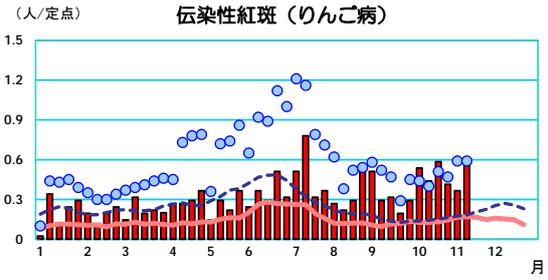
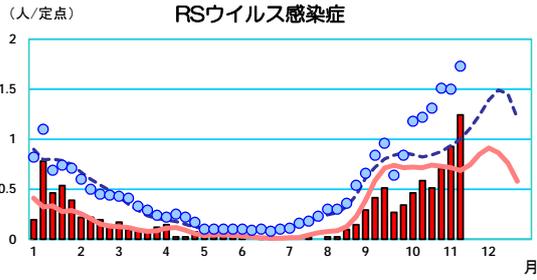
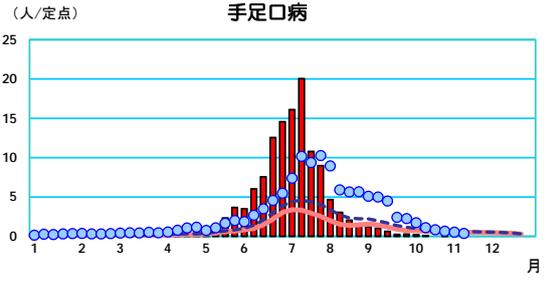
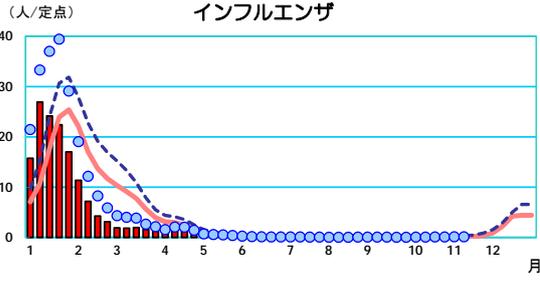
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 10	7
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9. 05	371
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 59	65
	③ RSウイルス感染症	1. 24	51
	④ 伝染性紅斑	0. 56	23
	⑤ 流行性耳下腺炎	0. 46	19
眼科	流行性角結膜炎	0. 20	2

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 平成27年11月18日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

# インフルザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



## 第46週(11月9日～11月15日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、毎年四半期ごとのAIDS患者・HIV感染者数を公表しています。本市では、平成27年7月から9月までの間、AIDS患者\* 3例、HIV感染者\*\* 3例の計6例の報告がありました。(下記URL参照)

昭和62年以降の累積報告数は281例(AIDS患者 92例(32.7%), HIV感染者189例(67.3%))となっています(表1)。推定感染経路では、性行為感染が226例で、全体の80.4%を占めています。特に、同性間の性行為感染が121例と最も多く、全体の43.1%を占めています(図1)。年齢階級別では、20歳代～30歳代の若年層が約6割を占めています(図2)。

HIVに感染すると、感染初期にウイルス量が急激に増加した後、一旦減り、無症状期(数年～10年程度)を経て、AIDS発症期に至ります。HIVウイルス量の増加に伴い、免疫細胞の数が減り、最終的に免疫不全状態となります。

感染初期の症状は、無症状からインフルエンザ様症状、無菌性髄膜炎など様々ですが、この時期にHIV感染を発見できると、その後の治療及び経過に有利になるといわれています。早期発見により感染の拡大防止に結びつくことから、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用してください。

\* AIDS患者 :AIDSと診断されて発生が届けられたもの。(すでにHIV感染者として報告されているものがAIDSを発症する等病状に変化を生じた場合は除く。)

\*\*HIV感染者 :HIVに感染し、無症候性キャリアとして報告されたもの。

詳細は、下記ホームページを御参照ください。

【エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者について(広報資料)】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/36-1-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

【京都市のHIV抗体検査・相談について】

○京都市のエイズ対策について <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000089734.html>

表1 年次別報告数の推移(京都市)

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
昭和62年～平成22年	214	69	145	197	17
平成23年	15	5	10	15	0
平成24年	9	4	5	8	1
平成25年	19	5	14	18	1
平成26年	15	4	11	12	3
平成27年(1～9月)	9	5	4	9	0
総計	281	92	189	259	22

図1 京都市の推定感染経路別の報告割合(昭和62年～平成27年9月)

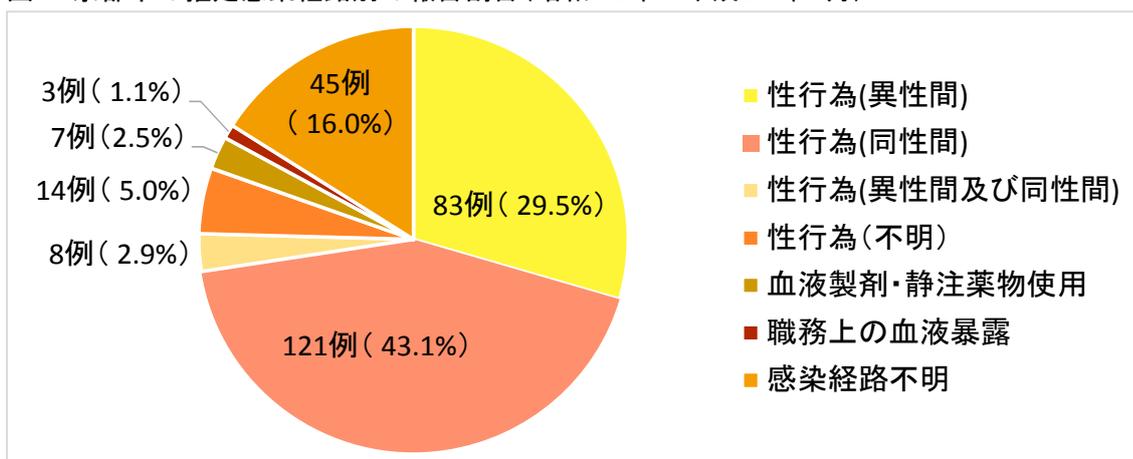
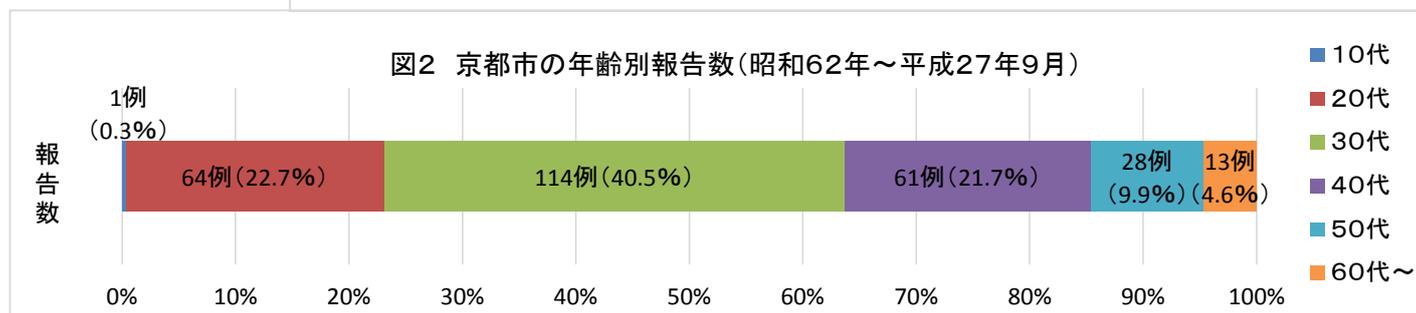


図2 京都市の年齢別報告数(昭和62年～平成27年9月)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第46週

疾病,行政区別報告数

平成27年11月9日～平成27年11月15日

データ入手日:平成27年11月18日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	-	2	3	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	2	3	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	7	2	5	14	1	-	1	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	11	-	10	74	4	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	6	-	2	13	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2	3	-	2	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	2	-	8	11	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	5	34	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	1	12	6	8	71	2	-	10	5	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-
伏見	3	9	2	17	51	2	1	3	4	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	1	1	2	5	70	3	-	6	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	7	51	14	65	371	16	2	23	17	-	-	19	2	2	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	-	0.50	0.75	2.00	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	0.50	0.75	2.00	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	2.33	0.67	1.67	4.67	0.33	-	0.33	1.00	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	2.75	-	2.50	18.50	1.00	-	0.50	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	2.00	-	0.67	4.33	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.67	1.50	-	1.00	12.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	0.50	-	2.00	2.75	-	-	-	0.25	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1.67	11.33	0.67	-	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	0.13	2.40	1.20	1.60	14.20	0.40	-	2.00	1.00	-	-	0.20	2.00	1.00	-	-	-	-	-	-
伏見	0.27	1.29	0.29	2.43	7.29	0.29	0.14	0.43	0.57	-	-	1.86	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	0.14	0.25	0.50	1.25	17.50	0.75	-	1.50	0.75	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.10	1.24	0.34	1.59	9.05	0.39	0.05	0.56	0.41	-	-	0.46	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第46週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年11月9日～平成27年11月15日

データ入手日:平成27年11月18日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	1	-	1	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		51	5	11	22	7	2	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		14	-	1	-	1	2	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		65	-	-	2	4	9	11	9	8	4	3	4	6	2	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		371	1	22	74	43	34	35	30	19	18	10	12	21	12	40	-	-	-	-	-	-
水痘		16	-	2	4	2	3	2	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		23	-	-	2	-	4	1	3	2	4	3	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		17	-	3	13	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		19	-	-	1	1	3	3	1	3	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
流行性角結膜炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	0.01	0.04	0.01	-	0.01	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		1.24	0.12	0.27	0.54	0.17	0.05	0.07	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.34	-	0.02	-	0.02	0.05	0.10	0.07	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.59	-	-	0.05	0.10	0.22	0.27	0.20	0.10	0.07	0.10	0.15	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		9.05	0.02	0.54	1.80	1.05	0.83	0.85	0.73	0.46	0.44	0.24	0.29	0.51	0.29	0.98	-	-	-	-	-	-
水痘		0.39	-	0.05	0.10	0.05	0.07	0.05	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.56	-	-	0.05	-	0.10	0.02	0.07	0.05	0.10	0.07	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.41	-	0.07	0.32	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.46	-	-	0.02	0.02	0.07	0.07	0.02	0.07	0.10	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10
流行性角結膜炎		0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	0.10
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第46週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年11月18日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	1	2	1	1	6	7
RSウイルス感染症	19	24	21	29	38	51
咽頭結膜熱	7	6	9	14	8	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39	42	52	61	68	65
感染性胃腸炎	222	200	282	327	316	371
水痘	11	10	8	9	5	16
手足口病	9	4	-	2	-	2
伝染性紅斑	22	18	24	17	15	23
突発性発しん	11	11	16	15	18	17
百日咳	1	-	-	1	-	-
ヘルパンギーナ	2	2	2	-	-	-
流行性耳下腺炎	9	9	15	10	18	19
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	2
流行性角結膜炎	3	8	-	4	6	2
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	357	336	430	490	498	589

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	0.01	0.03	0.01	0.01	0.09	0.10
RSウイルス感染症	0.46	0.59	0.51	0.71	0.93	1.24
咽頭結膜熱	0.17	0.15	0.22	0.34	0.20	0.34
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.95	1.02	1.27	1.49	1.66	1.59
感染性胃腸炎	5.41	4.88	6.88	7.98	7.71	9.05
水痘	0.27	0.24	0.20	0.22	0.12	0.39
手足口病	0.22	0.10	-	0.05	-	0.05
伝染性紅斑	0.54	0.44	0.59	0.41	0.37	0.56
突発性発しん	0.27	0.27	0.39	0.37	0.44	0.41
百日咳	0.02	-	-	0.02	-	-
ヘルパンギーナ	0.05	0.05	0.05	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.22	0.22	0.37	0.24	0.44	0.46
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	0.20
流行性角結膜炎	0.30	0.80	-	0.40	0.60	0.20
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1.00	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	9.90	8.78	10.48	12.24	12.54	14.60

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。